



## 警告のニューズレター「角笛」

発行日:2016年1月発行(第69号)

発行:警告の角笛出版

価格:フリーペーパー

角笛 HP:<http://www.geocities.co.jp/Technopolis-Mars/5614/>

---

### 【目次】

◎巻頭メッセージ:「淫婦バビロン」 エレミヤ

◎証:「新約聖書原典に関する偽り」 E3

◎お知らせコーナー:「本の紹介」「日曜礼拝&HPのご案内」

---

### [巻頭メッセージ]

#### 「淫婦バビロン」

by エレミヤ

今回は、淫婦バビロン、としてこのことを見ていきたい、と思います。

バビロンは古い昔に滅んだ国ですが、しかし、黙示録は終末の日に再度バビロンが登場することを述べます。以下の通りです。

#### [聖書箇所]ヨハネの黙示録 17:5

17:5 その額には、意味の秘められた名が書かれていた。すなわち、「すべての淫婦と地の憎むべきものとの母、大バビロン。」という名であった。

この終末の日に登場するバビロンとは、一体何を意味するのでしょうか？このことを考えてみたいと思うのです。いきなり結論を言うのも何ですが、我々はアメリカのキリスト教会こそ、終末の日のバビロンである、と理解しています。

そう思う理由は後で述べますが、とりあ

えず、そのような前提でこの記事を書いていきたいと思っています。

#### <バビロンとは、混乱を意味する>

ことばの意味合いを考えるなら、バビロンとは、バベル（混乱）という意味があります。創世記のバベルの塔の話には、このように書かれています。

#### [聖書箇所]創世記 11:9

11:9 それゆえ、その町の名はバベルと呼ばれた。主が全地のことばをそこで混乱(バベル)させたから、すなわち、主が人々をそこから地の全面に散らしたからである。

アメリカのキリスト教はまさに混乱です。あらゆる聖書とかけ離れた教理が起きており、その霊も混乱しています。たとえば、艱難前携挙説などは、聖書からかけ離れたおかしい教理ですが、しかし、この混乱したおかしい教理は、アメリカを基点に広がっています。

# 淫婦バビロン エレミヤ

## <バビロン捕囚の意味合い>

さて、バビロンという国の聖書的な大きな意味合いは、旧約の神の民であるユダの国がこの国、バビロンに捕囚された、ということです。以下のように書かれています。

〔聖書箇所〕Ⅱ 歴代誌 36:18-20

36:18 彼は、神の宮のすべての大小の器具、主の宮の財宝と、王とそのつかさたちの財宝、これらすべてをバビロンへ持ち去った。

36:19 彼らは神の宮を焼き、エルサレムの城壁を取りこわした。その高殿を全部火で燃やし、その中の宝としていた器具を一つ残らず破壊した。

36:20 彼は、剣をのがれた残りの者たちをバビロンへ捕え移した。こうして、彼らは、ペルシヤ王国が支配権を握るまで、彼とその子たちの奴隷となった。

ここでは、旧約の神の民であるユダの王、また神の宮の尊い器具も皆、バビロンへ持ち去られたことが書かれています。

このことは象徴的であり、預言的な事柄です。なぜなら、今の時代の世界のどの国のキリスト教も、皆、バビロン、アメリカの教理に席卷されているからです。また、あらゆる国のキリスト教会の器、クリスチャンがアメリカ由来の混乱した霊に影響されているからです。

## <約束の地に二度と戻らない>

バビロン捕囚のもっとも大きな意味合い、それは、彼らユダの人々が先祖たちに与えられた約束の地から移されてしまう、もう戻らない、ということです。

彼らが住んでいた地は信仰の先祖である、アブラハム、イサク、ヤコブに神が与えら

れた約束の地なのです。この約束の地ということばにはたとえとして、大事な意味合いがあります。それは、神の約束された天の御国をたとえたことばなのです。以下のように書かれています。

〔聖書箇所〕ヘブル人への手紙 11:15,16

11:15 もし、出て来た故郷のことを思っていたのであれば、帰る機会はあったでしょう。

11:16 しかし、事実、彼らは、さらにすぐれた故郷、すなわち天の故郷にあこがれていたのです。それゆえ、神は彼らの神と呼ばれることを恥となさいませんでした。事実、神は彼らのために都を用意しておられました。

です。神の先祖たちに与えた約束の地とは、他でもない天の都、入るべき御国をたとえたものなのです。ですから、彼らがこの約束の地を追い出され、異邦の地、バビロンの地へ引いて行かれた、ということには、信仰的に大きな意味合いがあるのです。

すなわち、このバビロンに惑わされ、その教理や霊に惑わされる者は、信仰の約束の地、すなわち、天の御国から引き抜かれてしまう、ということが暗示されているのです。はっきり言うなら、アメリカ、バビロンの教理、霊に惑わされる者は、天の御国が危ないのです。



ペンサコーラ悪霊リバイバル:それは、バビロンのぶどう酒

# 淫婦バビロン エレミヤ

## <アメリカの教理はバビロンの教理>

アメリカの教理はバビロンの教理であり、この教理に惑わされる人は先祖たちの約束の国、天の御国に入れなくなる可能性があります。それは、一見聖書から出たもののように見えます。しかし、実際は異なります。

そのような教理はいくつもあります。たとえば「クリスチャンと名が付けば、誰でも間違いなく天国へ入る。」という教理でしょうか。しかし、聖書は明らかにクリスチャンの間に区分があり、すべてのクリスチャンが天の御国に入るわけでないことを語ります。

たとえば、聖書は、天の御国に関連して、麦と毒麦とが存在することを語ります。麦はパン、みことばを食べて成長するものとしてのクリスチャンのたとえです。

### [聖書箇所]マタイの福音書 13:24,30

13:24 イエスは、また別のたとえを彼らに示して言われた。「天の御国は、こういう人にたとえることができます。ある人が自分の畑に良い種を蒔いた。

13:30 だから、収穫まで、両方とも育つままにしておきなさい。収穫の時期になったら、私は刈る人たちに、まず、毒麦を集め、焼くために束にしなさい。麦のほうは、集めて私の倉に納めなさい、と言いましょ。』」

ここに、良い麦は倉に入るが、毒麦は集めて火で焼かれることが書かれています。倉は天の御国のたとえでしょうが、火で焼かれることは滅びの火のたとえでしょう。ですから、ここでは、明らかにクリスチャンであっても2種類の運命が待っており、正しくみことばを行わないなら、火で焼かれることが待っていることを語るのです。

同じ意味合いで、マタイ13章の悪い魚が集められて火で焼かれること、また、油を持たない愚かな娘が外に追い出されることも同じこと、クリスチャンにもさばきや罰が待っていることを語るのです。クリスチャンと名が付けば、誰一人、さばきや罰を受けることはない、との教理がいかにかに聖書とかけ離れているか、理解出来るでしょうか。

## <バビロンの不品行のぶどう酒>

黙示録はバビロンが不品行のぶどう酒をすべての国々の民に飲ませることを語ります。以下の通りです。

### [聖書箇所]ヨハネの黙示録 14:8

14:8 また、第二の、別の御使いが続いてやって来て、言った。「大バビロンは倒れた。倒れた。激しい御怒りを引き起こすその不品行のぶどう酒を、すべての国々の民に飲ませた者。」

このぶどう酒とは何でしょうか？ぶどう酒は以下の聖餐式のことばにおいては、キリストの血、すなわち、聖霊のたとえです。

### [聖書箇所]Iコリント人への手紙 11:25

11:25 夕食の後、杯をも同じようにして言われました。「この杯は、わたしの血による新しい契約です。これを飲むたびに、わたしを覚えて、これを行ないなさい。」

キリストの与えたぶどう酒は、聖霊を象徴したのですが、淫婦バビロンの持つぶどう酒は、聖霊ではなく、逆にそれは、神ならぬ霊、悪霊のぶどう酒です。悪霊のリバイバルのことなのです。

### 「すべての国々の民に飲ませた者」

# 淫婦バビロン エレミヤ

黙示録はバビロンがすべての国々の民にこの不品行のぶどう酒、神以外の霊のぶどう酒を飲ませることを語ります。このことは、アメリカを通して実現しています。ベニー・ヒンなどのアメリカのおかしなリバイバルの霊は、全世界の教会に持ち込まれているからです。

## <アメリカにはバビロンの兆候がある>

アメリカとバビロン、そこには何らの関係も無いように見えるかも知れません。しかし、そうでもありません。よく、調べるとアメリカには、バビロンの兆候や、しるしが隠されています。

たとえば、有名なアメリカの自由の女神の像です。この像は、バビロンの女神イシスを象徴したものである、と言われていいます。このように、アメリカには隠れたバビロンの兆候があるのです。

## <バビロンのぶどう酒を飲むことは、神の怒りをもたらす>

バビロンのぶどう酒、すなわち、アメリカのキリスト教会のリバイバルを受け入れるなら、神の凄まじい怒りを受け、地獄の火で苦しむようになります。以下のように書かれているからです。

### [聖書箇所]ヨハネの黙示録 14:8-11

14:8 また、第二の、別の御使いが続いてやって来て、言った。「大バビロンは倒れた。倒れた。激しい御怒りを引き起こすその不品行のぶどう酒を、すべての国々の民に飲ませた者。」

14:9 また、第三の、別の御使いも、彼らに続いてやって来て、大声で言った。「もし、だれでも、獣とその像を拝み、自分の額か手かに刻印を受けるなら、

14:10 そのような者は、神の怒りの杯に混ぜ物なしに注がれた神の怒りのぶどう酒を飲む。また、聖なる御使いたちと小羊との前で、火と硫黄とで苦しめられる。

14:11 そして、彼らの苦しみの煙は、永遠にまでも立ち上る。獣とその像とを拝む者、まただれでも獣の名の刻印を受ける者は、昼も夜も休みを得ない。

この箇所を読むと、バビロンのぶどう酒を飲むことが、獣とその像を拝み、自分の額か手かに刻印を受けることに通じることが分かります。さらにその結果、神の怒りのぶどう酒を飲み、火と硫黄とで苦しむことに通じることが描かれています。バビロンの「不品行のぶどう酒」及び、「神の怒りのぶどう酒」と似たような表現を書くことで、この両者が密接に関係することが分かるのです。

## <獣に乗る淫婦バビロン>

さらにこのバビロンは、獣に乗ることが書かれています。以下の通りです。

### [聖書箇所]ヨハネの黙示録 17:3

17:3 それから、御使いは、御霊に感じた私を荒野に連れて行った。すると私は、ひとりの女が緋色の獣に乗っているのを見た。その獣は神をけがす名で満ちており、七つの頭と十本の角を持っていた。

この七つの頭と十本の角を持つ獣とは、以前見たように国としてのアメリカです。女はバビロンであり、アメリカのキリスト教会です。これらは人馬一体のように、切っても切り離せない関係であることが、この記述から理解出来ます。女は、獣に乗っているのです。獣の行く所へ女も行くのです。

アメリカのキリスト教会はまさに獣的な

# 淫婦バビロン エレミヤ

アメリカの国に連れまわされ、影響されています。国が、「イラクが9.11テロを起こした。」などと、根拠のないウソで扇動すると、すぐにその気になって、この国のクリスチャンは聖書の「殺すな。」との教えに背いてイラク攻撃に賛成したりしているのです。

## <バビロンで殉教が起きる>

さらにバビロンを基点として殉教が起ることを聖書は預言します。以下の通りです。

**[聖書箇所]ヨハネの黙示録 17:6**

**17:6 そして、私はこの女が、聖徒たちの血とイエスの証人たちの血に酔っているのを見た。私はこの女を見たとき、非常に驚いた。**

ここに、この女、バビロンが、「**聖徒たちの血とイエスの証人たちの血に酔っている**」ことが書かれています。すなわち、バビロン、アメリカのキリスト教会を基点として殉教が起きるのです。この日の兆しは、もうすでにアメリカのキリスト教会に起きているように思えます。

アメリカでは同性愛に反対するクリスチャンが逮捕されたり、福音トラクトを配るクリスチャンが逮捕されたりしています。そして、それらの正しいクリスチャンを非難するクリスチャンもいるのです。ですから、いずれ、このような正しいクリスチャンの血が流される日が来るのでしょう。

## <バビロンは一日で滅びる>

さて、このように正しいクリスチャンの血を流し、悪霊のリバイバルを進めて、神の怒りを買うバビロンですが、その神の怒りのゆえ、バビロンが一日の間に滅びる日

がきます。以下に書かれている通りです。

**[聖書箇所]ヨハネの黙示録 18:8**

**18:8 それゆえ一日のうちに、さまざまな災害、すなわち死病、悲しみ、飢えが彼女を襲い、彼女は火で焼き尽くされます。彼女をさばく神である主は力の強い方だからです。**

具体的にはその日、アメリカの国が一日で滅びる、恐らく核攻撃で滅びるようになる、と思われます。この攻撃は恐らく9.11テロのようにやらせのテロであり、アメリカを支配する人々は、前もって地下基地、地下防空壕に逃げると思われます。しかし、アメリカの大多数のクリスチャンは、この核の火で滅びるようになるでしょう。

## <アメリカのクリスチャンは悔い改めるべき>

このように、アメリカという国に関して、聖書は多くのページを割いて警告しており、その滅びる日に関して預言しているのです。繰り返しますが、アメリカで語られている教理は聖書とかけ離れた異端教理であり、そのリバイバルの霊は、不品行のぶどう酒であり、悪霊です。その上、アメリカはこれらの悪霊のぶどう酒を全世界のキリスト教会へ広げているのです。このような行いに関して、神の怒りはこの国のキリスト教会に対して積み上がっているのです。その神の怒りの日に、この国のキリスト教会は一日、否1時間の間に滅びるでしょう。悔い改めて歩みを正すことが必要です。



同性愛に反対して逮捕されるクリスチャン：  
バビロンで殉教が起きる

# 新約聖書原典に関する偽り E3

昨年（2015年）10月に土曜日の弟子の歩みの集会で、「新約聖書の原典」に関してエレミヤ牧師がお勧めをされていました。そしてこのことも、ぜひ多くのクリスチャンに知っていただきたい、そしてよろしければ、聖書を読む際にわずかでも参考になればなあ・・・と思いましたので、この度紹介させていただくことになりました。もし、興味がありましたら、お読みください。以下、エレミヤ牧師によるメッセージです。

教会に「毒麦」が入って来る、ということを聖書は預言的に語っています。教会が正しく歩んでいないときに、あらゆる攻撃や敵の侵入が許されます。今回は、入り込んだ毒麦、「新約聖書原典に関する偽り」について見ていきたいと思えます。新約原典の歴史を簡単に見ましよう。

新約聖書の原典は「ギリシャ語」であり、2000年前に書かれました。しかしマタイとかマルコが実際に肉筆で執筆したもの、すなわちオリジナルは残っていません。そして当時は印刷機が無かったので、忠実に手書きで書き写しました。そのことを「写本」と言っています。そして現代まで多くの写本が残っています。その数は、大体5300ほどです。他のプラトンの本などと比べると非常に多くの数が残っている、とも言えます。いかにこの本、新約聖書が大事であると人々が思ったのか、それは、写本の数からも想像出来ます。それらは手間隙をかけて忠実に書き写され、大切に保管されてきました。

5300の内、95～97%の写本の内容は合っています。しかし残りの3～5%は、途中で欠けたり、内容の違うものがあります。

その中にシナイ写本とか、パチカン写本があります。この件はあとで、述べます。したがって、正しくない写本の数、圧倒的に少ないと言えます。かなりの数の正確な写本が残っています。この一致する多数の写本を“Majority text”と言います。

16世紀、宗教改革の頃に、エラスムスという偉大な学者があらわれました。優秀な学者で

大事な働きをしました。“Majority text”（95～97%の写本）を基に、一冊のギリシャ語聖書（新約聖書）“Textus Receptus”「認定された原典」を作成しました。これが一番正しいという、基本となるギリシャ語新約聖書を作成しました。これがその後、キリスト教会において基本となり、大元となりました。

なお、英語聖書の“KJV”とは、この“Textus Receptus”の忠実な英語訳です。別名“AV”（authorized version）「権威ある訳」とも呼ばれています。「KJVこそ正しい英語聖書である。」と言われているのは、このような、いきさつがあるためです。

さて、19世紀頃からギリシャ語原典に関して、インチキが入って来るようになりました。イギリスにウェストコート（Westcott）&ホート（Hort）という悪い2人の学者が起きました。この2人を通して偽りが入って来ました。

彼らは上記のように正しく用いられてきた、“Textus Receptus”を外し、誤りの多いギリシャ語写本を用いてギリシャ語の聖書を作成しました。19世紀及び20世紀初頭にエジプトで発見された初期のギリシャ語写本（特に、パチカン写本とシナイ写本、その中でもパチカン写本）に大きく依存して新しく、ギリシャ語原典作成を行いました。これらの誤りの多い写本を使用した理由は、ただ、それらが古い写本だからという理由だけです。

そして、これらは、よりによって、というほど、誤りの多い写本です。どんなに間違いが多いのか？その例として、福音書だけでも、パチカン写本はエラスムスの新約聖書本文“Textus Receptus”と比べて、次のような間違いがあります。

- パチカン写本は、少なくとも2877語を削除している。
- 536語を付け加えている。
- 935語を置き換えている。

# 新約聖書原典に関する偽り E3

- 2098語を転置している。
- そして、それは1132語を修正しています。

こうして合計7578語の逸脱がなされています。シナイ写本は、それ以上にひどいものです。この写本の逸脱の合計は、9000近くにもなります。

そして、よりによってこのように、間違いがある写本を、この2人は大々的に用い、もっとも正しいものとして用いたのです。多数派の写本が排除されて、間違いの多い写本が意識的に用いられています。それは彼らが詭弁を使ったからです。「こちらが古いから正しい。」と。しかも「5000の“Majority text”の写本の内容が一致しているのは、当時談合があって、『こうしよう！』と決めたから。」などと詭弁を使い、排除したのです。このように、インチキがまかり通っています。

現在用いられている英語訳聖書（ASV, RSV, NASV, NIVなど）のほとんどは、上記、ウェストコート（Westcott）&ホート（Hort）の間違いだらけの写本が基礎になっています。したがって誤りの多い聖書となっているのです。

日本の現行の聖書も皆、上記間違いだらけの写本が基礎となっています。ゆえに一生懸命読んでも、元の版がおかしいので真理に到達しない可能性があります。つまり正しいギリシャ語原典が間違いとされ、偽りが大手をふるって用いられています。私たちはこの現実を知っておきたいと思います。パチカン写本は、福音書だけでも多くの単語や節を削除されています。つまり抜けだらけ、ミスだらけのものとなっています。シナイ写本は、比類の無いほど失敗した写本です。単語がまとめてズラッと抜けています。「キリスト」ということばを抜かしています。恐らく意図的に行ったと思われます。文字や単語、そして文章全体までもが2度繰り返し書かれていることがしばしばあり、あるいは書き始めてすぐに中断されていることもあります。要するに劣等生のノートみたいに、きちんと書き写されていないのです。そして、よりによって、こんな写本が、今我々が読んでいる聖書の元テキストなのです。

また、ウェストコート（Westcott）&ホート（Hort）、この2人は個人的にも問題があります。「心靈術」を行い、死人の霊との会話を行っていたようです。ゆえに別の霊に引っ張られてインチキを入れて来た可能性があります。けれどもこういう人たちによって、キリスト教の翻訳は牛耳られてきました。

それで私たちはどうするのか？どこで道を間違えたのか？正しい所に戻りたいと思います。つまり19世紀まで戻りたいと思います。唯一正しいギリシャ語が反映された英語聖書は、「KJV訳聖書」なので、そこに戻りたいと思います。こういう現状を通して、正しい聖書の訳を読むということにも戦いがあり、攻撃が強い、ということを理解していきたいと思います。

以上のことをエレミヤ牧師が語られておりました。私個人としては、かなり大事なのでは？と思いましたが、頷いたり、納得したりするものがありました。せっかく聖書を読むのでしたら、正しく知識を得ていきたいですし、理解したいと思うからです。今の時代、数多くのあらゆる聖書があるとは思いますが、もし、よろしければこのようなことも心に留めていただきたら・・・と思いましたが紹介させていただきました。いつも大切なことを語ってくださる神さまに感謝いたします。

※日本語に、「新契約聖書」というのがあり、KJV訳を反映しているそうなので、以下、紹介しておきます。  
発行元:日本ナザレン教団／千葉キリスト教内／基督教文書伝道会発行



“Textus Receptus”「認定された原典」を作成したエラスムス

# お知らせコーナー

## ●エレミヤの新刊「天皇家は万世一系のダビデ王朝の末裔である！」



● 定価:¥1,500+消費税 ※注文を御希望の方は、以下へご連絡下さい。

● 警告の角笛出版 tel:042-364-2327 fax:020-4623-5255

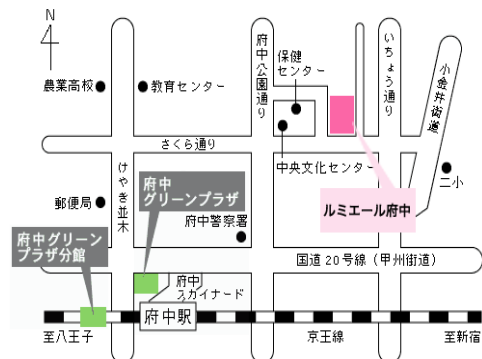
● mail:truth216@nifty.com

## ●レムナントキリスト教会「日曜礼拝」のご案内

曜日/時間:毎週日曜日 午前 10:30-12:30  
午後 14:00-16:00

場所:東京都京王線府中駅前、府中グリーンプラザ本館  
(tel:042-360-3311)

1Fのエレベーター脇の部屋表示板で、  
「レムナントキリスト教会」の部屋をご確認ください。  
どなたでも来会歓迎、入場無料です。



礼拝場所のURL: [http://www.fuchu-cpf.or.jp/green/access/map\\_02.html](http://www.fuchu-cpf.or.jp/green/access/map_02.html)

### ★教会のHPもあります。

ご興味のある方は、“Yahoo! Japan”で、「府中 レムナントキリスト教会」で検索ください。  
尚、レムナントキリスト教会はプロテスタントの教会です。ものみの塔や統一教会とは関係ありません。

### ☆クリスチャンの方におすすめのサイト:エレミヤの部屋

<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/6810/>

### ☆クリスチャン向けへのブログサイト:終末の風

<http://whattopics.at.webry.info/>

### ☆クリスチャンになったばかりの方やノンクリスチャンの方におすすめのサイト:オリーブ&ミルトス

<http://remnantnotudoi.jimdo.com/>

### ☆ノンクリスチャン向けへのブログサイト:パンの家

<http://87494333.at.webry.info/>